



林 声

2023

3月号



県内各地の森林を紹介する「様々なスタイルの森・おかやま」。今回は、高梁市内にある臥牛山をご紹介します。臥牛山一帯は国有林となっており、モミやカシ・ナラ類などの巨木が広がり、岡山県下でも数少ない手つかずの貴重な森林が残されています。写真は、紅葉で見頃を迎えた臥牛山の森林と備中松山城です。（東側の展望台から望む R4.11.7撮影）（詳細はP 2に記載）

目 次

様々なスタイルの森・おかやま ～風光明媚な臥牛山～	2	第74回全国植樹祭について	9
がんばる認定事業者（㈱創林社）	3	技能講習等情報	10
普及指導区の情報（岡山普及指導区）	4	東京2020五輪大会おかやま県産材 活用事業の取組	11
花粉の少ない森林への転換 ～全国知事会 花粉発生源対策推進 プロジェクトチーム～	5	林産物市況	11
山火事予防運動月間	5	森林・林業施設の紹介 （哲多認定こども園）	14
森林環境譲与税の活用について ニューフェイスです！	6		
（作州かがみの森林組合 磯田陸さん）	7		
おかやまの森林・林業を支える担い手の 育成について	8		

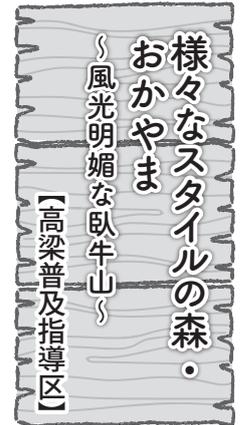


【ぼっけ～木になる情報】

Q. 保安林ごとに定められている「指定施業要件」とはどのようなものですか。
(答は13ページ)



高梁川から臥牛山と高梁市街地を望む



一 はじめに

臥牛山は市街地のすぐ北側に位置する標高487㍎の山で、牛が伏せた姿に似ていることからこのように呼ばれるようになりました。山頂に程近い場所にある国指定史跡の備中松山城は、標高430㍎と現存する山城としては全国で最も高い所にあることで知られており、県内外から多くの観光客が訪れます。



国指定重要文化財「備中松山城天守閣」

二 守られてきた天然林

臥牛山一帯の森林は、城の防備上樹木の伐採が行われず、明治維新後すぐに国有林に編入されたため、岡山県下でも数少ない手つかずの天然林が残っています。このため、臥牛山は高梁川上流県立自然公園特別地域の学術参考保護林に指定されているほか、21世紀に残したい日本の自然100選（財）森林文化協会・朝日新聞社）にも選定されており、多くの動植物を観察することができる貴重な森となっています。

三 豊かな植生

臥牛山の植生は、県中部に位置



モミやアラカシなどの巨木が広がる

することから南方系と北方系の植物が混在しているのが特徴で、235種もの樹木が確認されており、中国地方でこのように樹種の多いところは他にあまり見られません。特に山の南側斜面は、モミやカシ類、シデ類などの大木がうっそうと生い茂っています。また、山頂近くには、森の巨人たち100選（林野庁）に選ばれた「臥牛山のアベマキ」（推定樹齢350年、樹高30㍎、幹周4.7㍎）がありました。残念ながら平成17年に枯死が確認され、利用者の安全を配慮して平成30年に伐採されました。今は切株と朽ちた巨大な幹が残っています。

四 後世へつなぐために

近年、岡山県ではナラ枯れの被害が拡大していますが、ここ臥牛山でも昨年初めて被害が確認されました。森林管理署の方にお話をうかがいましたが、急傾斜地で被害範囲も広く、被害区域全体を処理することは非常に困難であるため、遊歩道付近を重点的に伐倒し駆除を実施するなど、利用者の安全確保に取り組んでいるとのことでした。抜本的な対策は難しいと思われませんが、貴重な天然林や巨樹・老樹がなんとか後世に残されるよう、高梁市や森林管理署と連携を図って被害対策に努めていきたいと思っています。

（高梁普及指導区 若林 彰）



元・森の巨人たち100選「臥牛山のアベマキ」



一 はじめに

株創林社は、真庭郡新庄村に事務所を置き、新庄村をはじめ真庭市の一部を含む地域で、主に素材生産を中心に行っている認定事業体です。



深井社長

二 (株)創林社の概要

平成30年1月に現在の代表取締役を務める深井英俊氏が設立し、今年で5年目を迎えた若い会社です。

社名は、林業は世代で繋ぐ仕事であり、他の職業にはない魅力があることや、おじいちゃんが植え

たものを使うだけではなく、伐採後はきちんと植えて次へ繋げたいとの思いから、未来に繋げる豊かな森林創りを目指し、「創林社」と名付けたこのことです。

深井氏は新庄村の出身で、主に家業である酪農に従事するなどしていましたが、その傍ら父親と一緒に所有する山林の手入れを行ううちに、次第に山仕事への魅力を感じるようになり、森林組合職員などを経て独立し、現在の会社を設立しました。

三 現在の状況

現在、従業員は11人、このうち素材生産に7人が従事しています。年齢構成は30代から70代まで各年



社員の皆さん

代のバランスよい構成となっており、それが特徴です。

主に森林組合から委託されたスギ・ヒノキの間伐を中心に、近隣の真庭市勝山や月田の木材市場などへ木材を出荷しています。

高性能林業機械はハーベスタ2台、プロセッサ1台、グラップルバケット2台を所有しています。

素材生産は2班体制としていますが、班員の組合せは現場の状況によって変えるなど、各個人の長所や能力が最大限に発揮できるよう工夫されており、その結果、作業の効率化に加え、労働災害の減少にも繋がっているとのこと。

また、会社では素材生産以外にも、稲やソバ、リンドウ栽培など、



間伐作業状況

経営の多角化にも取り組んでいます。

四 今後に向けて

現在は、素材生産業を中心に事業展開していますが、降雨をはじめ冬季の積雪により作業期間が制限されています。このため、素材生産業以外にも活路を求め、将来的には、苗木生産を含めて植栽から保育、伐採までの一貫作業を手掛ける事業体へ発展させたいとのビジョンを持っておられます。

こうしたビジョンを実現するためには、雇用増や人材の育成が不可欠であると同時に、事業量を確保し雇用の安定に繋がる取組みが必要であり、難しい問題ではあるが、準備していきたいとお話しくださいます。

五 おわりに

最近、新たな取組みとして新庄村が募集している「森づくりを担う協力隊員」の育成に協力し、希望者を同社で受入れ、育成する計画が進んでいます。

当普及指導区においては、新庄村とも連携を図りながら、こうした事業体の取組みに対して、助言や支援により協力をしていきたいと考えています。

(林業普及指導員 野口 朋弘)



新会長の勝部公平さん

一 はじめに

岡山普及指導区は、岡山県の中南部に位置し、瀬戸内海沿岸から吉備高原に至る地域です。南部地域の森林は、広葉樹やアカマツ林が主体で、北部地域ではスギ・ヒノキなどの人工造林地が広がっています。こうした中、里山地域では多くのボランティア団体により里山林を活用した活動が幅広く行われており、当普及指導区におい

ても森づくりの活動に取り組む団体等に対して、積極的に支援しているところです。

当普及指導区では、令和4年度に「おかやま森づくり県民基金事業（森林活動促進への支援事業）」（以下「基金事業」）を活用している森林ボランティア団体が9団体あり、それぞれが森づくりの活動を行っています。

今回はその中で、岡山市北区建部町富沢地内において活動されている「森の育て親・建部」連絡協議会（以下「協議会」）について、紹介します。

当協議会は、平成19年12月に設立されました。会の発足にあたっては、上建部財産区から手つかずであった財産区有林の森林整備や森林体験を提供する場として活用してはどうかとの提案があり、地元住民の里山林整備への関心もあつたことから、活動することとなりました。

平成23年度から基金事業を活用した里山林整備に取り組み、これまでの実績が認められたことから平成26年度には「生き生き岡山

二 団体概要

推進賞」を受賞されました。令和5年1月から、3代目の新会長になられた勝部公平さんに、今後の抱負などについてお話を伺いました。

三 活動内容

会員数は、設立当初に比べ減少しましたが、令和4年4月1日現在で42名の会員が所属しています。活動日は毎月、第一日曜日と月曜日としており、主な活動としては、薪作りや炭焼き、原木シイタケ作り、モミジ等の植栽、下刈りなどを実施しており、毎回、約10名程度の会員が参加しています。

この他にコロナ禍前は、キャンプ協会などと連携し、親子自然体験イベントとして、里山ウォーキングや山菜の採取、シイタケの収穫などを実施していました。

四 今後の抱負

会員の約8割が70代と高齢化してきており、今後の後継者不足を危惧しています。コロナ禍で、多くの人が集まれるイベントの開催が困難となっていますが、里山を活かしたレクリエーション活動を通じて、次世代の森林について関心を持ってもらい、将来の地域づ

くりの中心となってももらえるようなきっかけの場として、これからも会の活動を続けていきたいと熱く語っておられました。

五 おわりに

勝部さんの里山林整備を通じた地域活動に対する思い入れの深さを改めて感じました。

当普及指導区では、新会長となられた勝部公平さんが、地域リーダーとしてますます活躍されるよう今後も協議会を含め、森林整備を行うボランティア団体等を支援していきたいと思えます。

（岡山普及指導区 六車 悠人）



里山林整備された活動場所

花粉の少ない森林への転換 (全国知事会 花粉発生源対策推進プロジェクトチーム)

本県では以前から、国民の約4割が罹患し国民病とも言われる花粉症対策を県政の重要な課題と捉え、少花粉苗木の生産や普及等に取り組んできました。

しかし、花粉症対策は限定的な地域だけではなく、全国で取り組んだ方が効果的であることから、令和2年6月、全国知事会において花粉発生源対策推進プロジェクトチーム（以下、「PT」という。）が、39都府県の参加を得て発足し、本県の伊原木知事がリーダーを務め、治山課造林班が事務局を受け持ちました。

その後約2年の間に3回のPT会議を開催し、先進的な取組等を調査して情報共有を行うとともに、各都府県の課題等を分析し、令和4年8月、国に対する提案・要望活動を行い、伊原木知事が林野庁長官に提案・要望書を手渡ししました。

PTでは、各都府県の花粉発生源対策に対する取組や進捗に差があり、解決すべき課題も多かったため、課題を体系的にとらえ、筋道を立てて解決策を検討するロジックモデルの手法を活用するなど

の工夫をしました。

提案・要望書では、①花粉の少ない品種の種子等の安定供給体制づくり、②少花粉品種と成長が速い特定母樹の性質を併せ持つ新品種の開発、③花粉発生源削減の取組の「見える化」、④主伐・再造林の負担軽減の4つを最重点項目としました。



林野庁長官への提案・要望状況 (R4.8.1)

今後も、広域での連携した取組や先進・優良事例について技術交流を活発化させるとともに、横断的な課題については一丸となって取り組むことにより、花粉の少ない森林づくりを国民運動につなげていくこととしています。

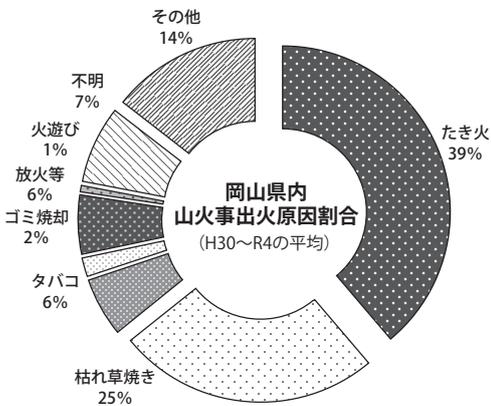
(治山課造林班)

3月は山火事予防運動月間です

春先は、空気が乾燥し、風の強い日も多くなることから、山火事が非常に起こりやすくなります。

県では3月を「山火事予防運動月間」と定めて、県民の山火事予防意識の向上に取り組んでいます。

県内では、過去5年間に332件の山火事が発生し55鈔の森林が失われています。その原因は、たき火の不始末、枯れ草焼きからの延焼といった人の不注意によるものがほとんどです。



ひとたび山火事が発生すると、一瞬で大切な森林が失われてしまいます。

今年の全国統一標語は「火の確認 山を愛する あなたのマナ」です。山火事を防ぐ6つのポイントを心がけ、大切な森林をみんなで守り、未来へと引き継ぎましょう。



- ※山火事を防ぐ6つのポイント
- ① 強風・乾燥時は火を使わない
 - ② たき火の後始末は完全に
 - ③ タバコの投げ捨て厳禁
 - ④ 火遊びはしない、させない
 - ⑤ 火入れや野焼きなどは一人ではない
 - ⑥ 火入れをするときは許可を受けよう

(治山課保全班)

森林環境譲与税の活用について



森林は、水源の涵養^{かんよう}や土砂崩れの防止、木材の生産、さらには地球温暖化防止など、私たちの生活に広く恩恵をもたらしています。

森林を適切に整備することで、私たちの生命や生活を守ることにつながる一方で、所有者や境界が分からず手入れがされていない森林の増加や、森林整備のための担い手不足などが大きな課題となっています。

このような状況の中、市町村と県では、森林環境譲与税を活用し、森林を整備するための様々な取組を行っています。

特に、手入れされていない森林を解消するため、市町村では、令和元年度から森林経営管理制度に取り組んでおり、県では、その支援を行っています。

また、地域における間伐の推進、担い手の確保や木材利用の促進など、市町村ごとに特色ある取組が行われていますので、その中から主な取組事例について紹介します。

市町村と県では、これからも森林環境譲与税を有効に活用して、森林の整備を進めてまいります。

(林政課普及指導班)

森林環境譲与税を活用した主な取組事例

新見市 (森林経営管理法に基づく意向調査)	津山市 (森林整備の促進)
<p>森林所有者の高齢化等により山に対する関心が薄れる中、適切な森林整備を図るため、「新見市森林経営管理制度の取組方針」を定め、計画的に意向調査を実施し、森林整備につなげている。</p> <p>R 3 実績：調査対象 95名 (169.55ha、254筆) 回答 73名 (132.09ha、194筆、77%) 市への管理委託を希望 40名 (60.43ha、91筆、55%)</p> <p>事業スキーム</p> <p>新見市 → 経営管理権集積計画策定</p> <p>意向調査委託</p> <p>新見市 森林組合 → 森林経営計画策定</p> <p>意向調査</p> <p>森林所有者</p>	<p>不在地主や相続未登記森林の増加等により手入れがなされず土砂災害発生の危険性が高まっている森林を整備するとともに、主伐期を迎えている森林の更新を進めるため、令和3年度から森林組合等における間伐、主伐・再造林、作業路網の補修等への支援を実施している。</p> <p>R 3 実績：下刈り6.29ha、除伐13.7ha、保育間伐1.4ha、枝打ち1.4ha、作業道補修7路線 7,004m</p> <p>保育間伐等助成事業</p> <p>森林作業道補修助成事業</p> <p>皆伐再造林等助成事業</p>
<p>鏡野町の豊かな森林資源の持続的活用、放置森林の解消に向けた森林整備を推進するため、林業の担い手育成・確保に向けて森林環境譲与税を活用し、林業の新規就業者、林業事業者の経済・技術支援を行っている。</p> <p>1 新規林業就業者への支援</p> <p>ア) 引越支援金 最大20万円 (20万円以内実費分 1回限り)</p> <p>イ) 家賃支援金 最大60万円 (月額上限5万円以内実費分 就業から12ヶ月間)</p> <p>ウ) 支援一時金 20万円 (就業6ヶ月経過後に支給 1回限り)</p> <p>2 町内認定事業者への支援(上記の新規林業就業者が就職した場合)</p> <p>エ) 雇用確保支援金 最大156万円 (月額上限13万円以内 就業から12ヶ月間)</p> <p>オ) 育成指導支援金 最大60万円 (新規就業者1人当たり月額定額5万円 12ヶ月間) ※イ、ウ、エは他事業での助成がある場合はその期間は除く。</p> <p>R 3 実績：新規林業就業者 1名、町内認定林業事業者 1社</p>	<p>平成23年に「岡山市内の公共建築物における県産材等の利用促進に関する方針」を策定し、公共施設整備時における木造・内装木質化を推進しており、令和元年度から森林環境譲与税を活用し、公共施設の木造・内装木質化をさらに進めていくこととしている。</p> <p>R 3 実績：12件、木材使用量149.89㎡ (うち県産材使用量70.56㎡)</p>

「ニューフェイスです！」

作州かがみの森林組合

磯田^{いそだ} 陸^{りく}さん (21歳)

今回は、作州かがみの森林組合の磯田陸さんをご紹介します。磯田さんは令和4年4月に採用されたばかりの、将来が期待されているニューフェイスです。



作州かがみの森林組合 磯田陸さん

一 経歴

磯田さんは倉敷市の出身で、高校を卒業後は専門学校で自転車の整備について学ばれていました。

林業とは無縁の生活でしたが、もともと身体を動かすことや自然が好きだったこともあり、「自然に

関わりながら身体を動かす仕事」をしたいと思い、林業の世界に足を踏み入れられました。

磯田さんは自転車や釣りが趣味で、高校三年生の時に「ファンライド鏡野」という自転車のツーリングイベントに参加されたことがあるそうです。その時に山の中を走り、鏡野町の自然に触れた経験がきっかけとなり、鏡野町で林業に携わりたいと、作州かがみの森林組合への就職を決意されました。

二 仕事の内容

林業の技術は森林組合に就職してから習得されているとのこと、一年目は基本を身につけるために、造林や保育をメインとして、主に地拵えや下刈りの作業に従事されています。最近では刈払機の扱いにも慣れてきたとのこと。

三 仕事への想い

やりがいを感じる時について伺うと、「最初は草が生い茂っているところが、作業をすればするほど綺麗になり、植林できる状態になっていく様子を見たときです。」とのこと、下刈りや地拵えは、達

成感があり好きな作業だそうです。また、大変なことについて伺うと、「身体的にはしんどいこともありますが、先輩方が助けてくださるので、頑張つてやらせてもらっています。」とのこと、上司や先輩方との関係の良さが、お話しをしていて感じられました。



現場での地拵え作業

四 上司から一言

坂手業務課長に伺うと「近年林業では担い手不足という中、配属された上斎原支所では久々の新人ということもあり、将来が楽しみで期待の存在です。大変過酷な仕事ではありますが、まずは先輩方に技術指導してもらい、安全第一と健康で立派な作業員になっても

らいたいと思います。林業という仕事の更なる楽しさを見つけるため共に頑張ろう！」と話されました。



先輩方との団らん

五 おわりに

林業はどうですかと伺うと、「自分には合っていると思います。楽しいです。」と答えてくださった磯田さん。今後の抱負は、「一年を怪我なく終えること」だそうです。磯田さんの更なる成長と活躍を期待しています。

(津山普及指導区 松宮 悠夏^{はるか})

おかやまの森林・林業を支える担い手の育成について

令和4年度に農林水産総合センター普及連携部普及推進課で開催した研修について紹介します。

一 森林作業道作設研修（基礎と新規指導者育成）



路網設計支援ソフトを活用した踏査

岡山県の地形、地質及び作業システムを踏まえた森林作業道の路線選定や作設方法について、基礎研修、応用研修、新規指導者育成研修に分けて開催しました。基礎研修では、路線の計画やバックホウを使用し

た基本的な土工について学び、応用研修では、曲線の考え方、路網設計支援ソフトの活用、洗土工及び応用土工（曲線の布設）等について学びました。受講者からは「路網設計支援ソフトが活用できると現場作業の効率アップに繋がると感じた。」等の声が聞かれました。新規指導者育成研修では、より高度な作設技術やわかりやすい説明方法等について学びました。これらの技術を現場に生かし労働生産性の向上に繋がることが期待されます。

二 機械整備技術習得研修

林業の現場で欠かすことのできない高性能林業機械の整備や応急措置に対応できる技術習得研修を



油圧ホースを修理・自作できる加締機の説明

開催しました。研修では、加締機の取扱方法、高性能林業機械のメンテナンス方法、検電器を用いた油圧機器の電磁弁の点検を行い、不具合箇所の特定や対処方法について理解を深めました。

三 伐採技術向上研修



水平切りのトレーニングを行う研修生

林業労働災害は、伐採作業中のものが多くを占めています。このため、安全な伐木作業を行うことができ、技能者の育成が急務となっており、伐木技能者が職場内外の研修で「技術を伝えるノウハウ」を身に付ける必要があります。研修では、チェーンソー技術や新人が伐採技術を身につけるための指導方法等に

ついて学びました。指導者の育成により、労働災害の軽減と就業者の定着に繋がることが期待されます。



新人指導の実践を行う研修生

四 林業機械体験研修

林業関係学科等のある高校生や就業希望者を対象に、ハーベスタ、フォワーダなどの高性能林業機械の操作体験を行いました。体験がきっかけとなり、一人でも多くの新規就業者が誕生することが期待されます。

五 おわりに

今後も林業技術研修棟を有効活用し、地域の林業を支える担い手の確保と育成に努めて参ります。

（普及推進課林業普及推進班）



第2弾 第74回全国植樹祭について

一 はじめに

全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・みどりに対する国民の理解を深めるための国土緑化運動の中心となる行事です。

第74回全国植樹祭は令和6年春に岡山県で開催します。

二 開催機運醸成に向けた取組

第74回全国植樹祭の開催機運を盛り上げるため、今年度は様々な取組を行いました。今回は、そのうち4つをご紹介します。

1つ目は、津山市阿波の大ヶ山牧場跡地で実施した、ブレ地域植樹です。約220人の県民参加のもと、ヤマザクラ、イロハモミジ等1,200本を植樹しました。

2つ目は、苗木の育成体験です。県内の学校等37団体、約1,100人に参加いただきました。苗木は、令和6年の全国植樹祭開催後のアフター地域植樹まで育成してもらいます。

3つ目は、開催日までの残り日数を刻むカウントダウンボードデザインが決定しました。県内の工



苗木の育成体験



ブレ地域植樹

業系高等学校にデザインを募集し、審査会のもと、6案から2デザインが選定されました。完成は令和5年夏頃を予定しています。

4つ目は、第74回全国植樹祭大会ポスター原画が決定しました。県内の児童・生徒から615点の応募があり、最優秀賞は、浅口市立金光小学校5年生の西山心希(にしやま ここな)さんの作品

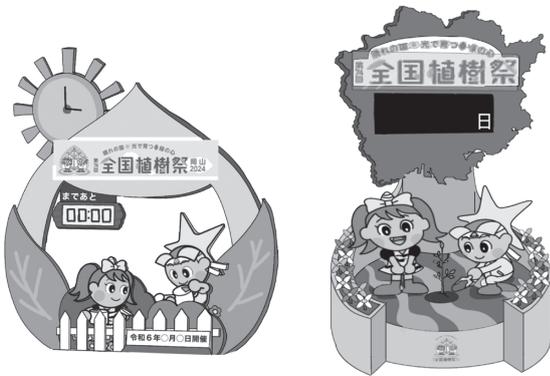
となりました。作品名は「みんなで育てるハートの木」です。選定された最優秀賞受賞作品をもとに大会ポスターを作成し、第74回全国植樹祭PRに活用します。

三 おわりに

令和5年度も各種イベントや、記念事業を実施します。

令和5年5月20日(土曜日)には、西大寺緑化公園・百花プラザにて、1年前イベントを開催します。記念式典をはじめ、木や花を使った体験イベント、緑化の啓発・展示コーナー等を実施します。

また、令和5年度の地域植樹は、県内5箇所で開催します。是非



カウントダウンボードデザイン



大会ポスター原画

ご参加ください。

ブレ地域植樹、苗木の育成体験では多くの皆様にご協力いただきありがとうございます。開催まで1年半を切りましたが、当室では、特色ある有意義な大会となります。今後も様々な取組を進めていきますので、引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。

(自然環境課全国植樹祭推進室)



第74回全国植樹祭HP



Twitter



Facebook

なお、全国植樹祭の前日に開催する全国林業後継者大会岡山大会では大会のテーマを募集しています(一月号参照)。奮ってご応募ください。

(林政課普及指導班)

技能講習会の開催（4月～6月）

※詳細は申込先にお問い合わせください。

名 称	会 場	日 程	申 込 ・ 問 合 せ 先	
伐木（特別教育）	津山	4月12～14日， 5月17～19日	林業・木材製造業労働災害防止協会 岡山県支部 TEL (0868) 28-9518	
	岡山	6月26～28日		
※15名以上の受講者がある場合は、「伐木等の業務に係る特別教育」又は「刈払機取扱業者に対する安全衛生教育」の特別開催（出張）を実施することができますのでご相談ください。				
小型移動式クレーン運転	岡山	5月18～19日	一般社団法人 岡山県労働基準協会 TEL (086) 225-3571	
	津山	6月1～2日		
玉掛け	岡山	4月6～7日		
		5月11～12日， 13～14日		
		6月8～9日		
	和気	4月13～14日		
フォークリフト運転	岡山	4月5， 15日， 5月17日		
		6月1， 17日		
		玉野		6月22日
		和気		4月4日
刈払	岡山	4月11日， 5月29日		
		5月26日		
		和気	6月20日	
		新見	6月2日	
	津山	4月17日， 5月24日， 6月30日		



CT-500C

・GP-532
小型ハイパワープロセッサ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.



shindaiwa

高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社

津山市一方 194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255
http://www.mitsuyoshi.com/

— 安全・人と自然・調和 —

美林を育てる

〔林地除草剤〕 サイトロンフレノック微粒剤・サイトロン微粒剤・フレノック粒剤・ケイピンエース

造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕 ランテクター水和剤・コニファー水和剤

〔幼齢樹保護カバー〕 くわんたいⅡ 〔樹皮食い防止〕 バークガード・美樹巻夫

〔樹幹注入剤〕 マッケンジー・マツガード・他 〔野生草食獣侵入防止〕 防獣ネット・他

お問い合わせ申込みは県森連・森林組合へ

販売：日植アグリ株式会社

販売元：大同商事(株)大阪営業所

TEL.086-292-5525

TEL.06-6384-1288

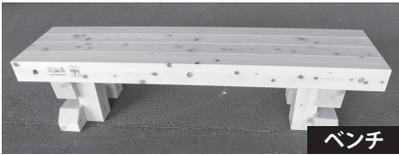


県では、県産ヒノキの魅力を広く普及啓発するため、東京2020オリンピックピック・パラリンピック競技大会組織委員会が実施した選手村ビレッジプラザの建築に全国から提供された木材を使用し、大会後にレガシー（遺産）として各地で後利用するプロジェクトに参画しました。

この取組は、平成30年度からおかやま森づくり県民税を活用した「東京2020五輪大会おかやま県産材活用事業」により推進されています。県内20市町村の森林認証林から調達したヒノキ材等を製材・加工し、製材品8.2.6m³、CLT20.2m³を提供しました。選手村ビレッジプラザの構造材や床材に活用され、令和3年の大会終了後に木材は提供した各自治体に返却されました。

令和4年度は、返却された木材をベンチやテーブルなどの木製品（全5種）に再加工後、要望のあった市町村に引渡し、公共施設において後利用することで、県産材利用の普及啓発を図っていくこと

【公共施設で後利用される木製品】



としていきます。また、県有施設や要望のあった市町村では、新たな公共建築物の内装材などへの後利用も計画されています。これらの公共施設に訪れた多くの利用者に、県産材利用の意識の醸成が図られることを期待するとともに、今後も様々な機会を捉え、県産ヒノキの魅力を広くPRし、県産材の利用への理解・普及に努めていきます。

（林政課林業木材班）

林産物市況

●木材（2月28日）

・出荷量 約1,600m³

単位：千円/m³



樹種	長さ	径級	直材	小曲り	概況
杉	3m	14~16	13	—	杉概況【3m】
		18~20	13.5	—	柱材 横這い
		22~28	13.5	—	中目材 横這い
	4m	18~22	11	—	中目材【4m】
		24~28	12	9.5	中目材 横這い
		—	—	—	元木 横這い
檜	3m	14~16	23	17	檜概況【3m】
		18~20	18	17	柱材 横這い
		22上	17	15	中目材 横這い
	4m	16~18	22	20	元木 横這い
		20~22	19	18	柱材 横這い
		24~28	20	18	中目材 弱含み
	6m	16	—	—	元木 横這い
		18~20	35	25	—
松	3m	18~22	—	—	—
	4m	18~22	—	—	—

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値

●製材（2月）

価格：円/m³



樹種	寸法	等級	区分	安値~高値	備考
スギ	正角3m 10.5cm角	特等	K	90,000~	
	正角3m 12cm角	特等	K	~90,000	
ヒノキ	正角3m 10.5cm角	特等	K	90,000~95,000	
	正角3m 12cm角	特等	K	80,000~85,000	
	正角4m 10.5cm角	特等	K	90,000~95,000	
マツ	正角4m 10.5~12cm×15~18cm	一等	K	95,000~	
	正角4m 12cm角	特等	K	~90,000	
米マツ	正角3m、4m 10.5cm角	特等	G	82,000~	
	平角3m、4m 10.5×15~21cm	特等	K	~104,000	
北洋アカマツ	タルキ4m 3.8cm角	特等	K	100,000~105,000	
ホワイトウッド	間柱3m 2.7cm×10.5cm	特等	K	~90,000	

注1：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。

注2：区分のKとは人工乾燥材、Gとは未乾燥材のこと。



「緑の募金」 ご協力をお願いします

緑の募金で進めようSDGs (持続可能な開発目標)

募金期間

春のみどりの月間

4月1日～5月31日

秋のみどりの月間

10月1日～10月31日

口座振込は
こちらへ

ゆうちょ銀行 01270-0-5225
中国銀行岡山駅前支店 普通1852041
トマト銀行岡山駅前支店 普通1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会

岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086) 221-9511

岡山県森林組合連合会
公式オンラインショップ
Jforest
詳しくはホームページをご覧ください

お問い合わせ先 岡山県森林組合連合会 TEL:086-236-6530 FAX:086-236-6531 Mail:info@okmoriren.or.jp
〒701-1202 岡山市北区楷津 491-1

おかやまの木で家づくり支援事業

- ✓助成金額：最大24万円/戸
- ✓助成対象者：県内において住宅を新築または改修される施工業者（大工、工務店等）



詳細は
コチラ

<http://www.kaiteki-kinoie.or.jp/subsidy.html>

一般社団法人 岡山県木材組合連合会

〒700-0902 岡山市北区錦町1-8(岡山県木材会館内)

TEL(086)231-6677 FAX(086)232-7549

木を通して環境保全に貢献しています



公園修景施設・土木用資材

防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130

緑あふれる環境づくり

株式会社 山都屋

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号
TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142
<http://www.yamatoya-net.com>
大阪営業所 津山営業所 水島営業所

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

- ◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造 総発売元 森産業株式会社

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104
TEL 岡山(086)805-7033(代)

ほっけー木になる情報

Q. 保安林ごとに定められている「指定施業要件」とはどのようなものですか。

A. 「保安林」は、水源の涵養や土砂災害の防止等をはじめとする私たちの暮らしに特に重要な森林について指定されており、県内の森林面積の約36%が指定されています。

保安林の働きを維持するために最低限守らなければならない森林の取扱方法が、「指定施業要件」であり、次の事項について定められています。

① 立木の伐採の方法

主伐と間伐が定められており、主伐は、皆伐・択伐・禁伐の「伐採種」と伐採することができる立木の林齢「伐期齢」について定められています。

② 立木の伐採の限度

主伐に係る皆伐は、「皆伐の面積の限度」と「皆伐することができる1箇所当たりの面積」、択伐は、「択伐をすることができる立木の材積率」が定められています。

「皆伐の面積の限度」は、県が、

毎年2月1日、6月1日、9月1日、12月1日の年4回公表しています。

また、間伐は、「間伐をすることができる立木の材積率」が定められ、「翌伐採年度の初日から起算しておおむね5年後において、その森林の樹冠疎密度が10分の8までに回復することが確実であると認められる範囲内の材積」の必要があります。

③ 植栽関係

植栽は、「立木を伐採した後において当該伐採跡地が植栽によらなければ的確な更新が困難と認められるもの」について指定されており、「植栽の方法、期間、樹種」が定められています。

植栽は、伐採が終了した日を含む伐採年度の翌伐採年度の初日から起算して2年以内に植栽する必要があります。

保安林内で立木を伐採する場合は、指定施業要件に適合した「保安林内立木伐採許可申請書」や「保安林内択伐（間伐）届出書」を提出する必要があります。

指定施業要件の詳細については、各県民局森林企画課又は地域森林課にお問い合わせください。

（治山課保全班）

「もしも」に備えて・・・森林保険があります！

FOREST INSURANCE



森林保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林
加入期間は？ 1年単位で何年でも！
保険金がでるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で約3千7百万円の保険金が支払われました。

ご契約のモデルケース（1haあたり）

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年
保険期間…5年 保険金額…最大188万円
一括払いだと27,444円（5年間計）

樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年
保険期間…5年 保険金額…最大299万円
一括払いだと43,325円（5年間計）

1ヶ月あたり
約460円

わずかおむすび
4個分

1ヶ月あたり
約720円

わずかラーメン
1杯分

○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。

○条件によって契約金額が変わってきます。

○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。

林声

令和五年三月一日（第四八八号）
（隔月一日発行）



外観

「哲多認定こども園」

森林・林業施設の紹介

新見市哲多町本郷地区で、令和4年6月から整備が行われていた哲多認定こども園の園舎が、令和5年1月に完成しましたのでご紹介します。

園舎は、「新見市内の公共建築物における新見市産材等の利用促進に関する方針」に基づき建設され、木造平屋建て延床面積約873平方メートル、木材使用量約120立方メートルとなっています。各教室の床材と腰板には新見市産ヒノキを使用し、遊戯室ステージの床材には、東京2020五輪大会で選手村ビレッジプラザの施設整備に利用された



遊戯室ステージの床材



教室内の床材と腰板（新見市産材）

県産材が再利用されています。また、壁等の下地材として岡山県産材合板が使用されています。
現在、4月1日からの開園に向け、外構部等の工事が進められており、真新しい園舎で園児が木とふれあいながら楽しく過ごせる施設となるよう願っております。

（新見普及指導区 湯浅 秀通）

編集 岡山県森林組合連合会内 岡山県林業改良普及協会
発行 〒701-1202 岡山市北区橋津四九一―一

中古林業機械 売ります！買います！

各種機械のレンタル・修理も承ります！

富士岡山運搬機株式会社

 HITACHI Logisnext 日立建設機械 油圧ショベル	 STIHL 三菱ロジスネクスト フォークリフト チェーンソー	各種林業アタッチメント KEIJI NANSEI IWAFUJI MOROOKA
--	--	--

 林業機械	本社 岡山県津山市津山口111-1 新見 岡山県新見市石蟹267-9 岡山 岡山県岡山市中区江崎84-1 鳥取 鳥取県鳥取市南栄町33-15	TEL : 0868-24-3211 TEL : 0867-76-9077 TEL : 086-277-5100 TEL : 0857-50-1985
-----------------	---	--



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。